

第2回 総合的病院に関する検討会（地域連携機能等検討会）

次第

日時：平成29年7月20日（木）

午後6時00分～

場所：市役所5階 第3会議室

1 開 会

2 議 題

(1) 地域連携体制について

- 市民が求める病院機能の把握
- 市民意見の集約
- 各団体から葵会への要望について

(2) 診療体制について

- 救急体制について
- 病院設備について
- 紹介・予約制について

(3) その他

- 第3回の開催時期について

3 閉 会

総合的病院に関する検討会（地域連携機能等検討会） 出席者名簿

（○：アドバイザー、※：意見参考人）

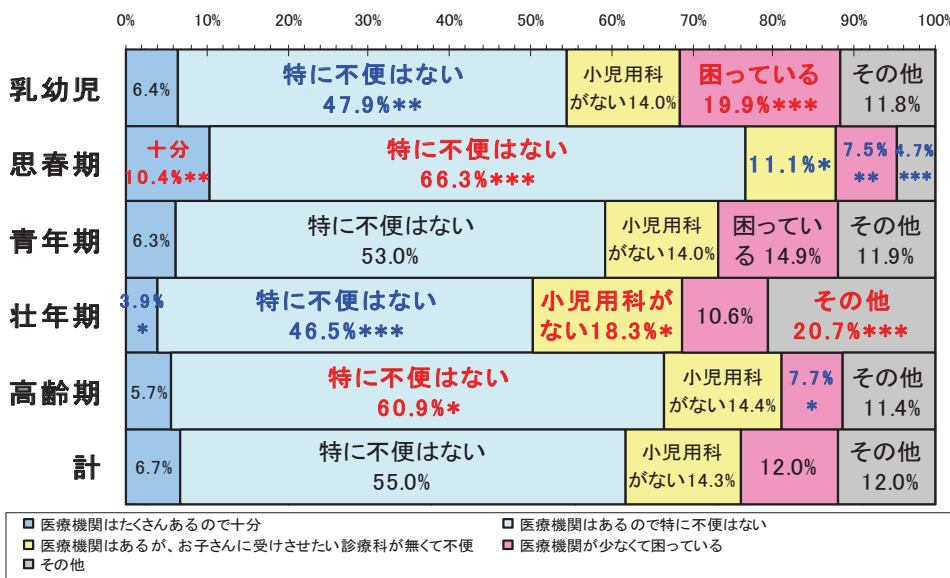
	所 属	役 職 ・ 氏 名
1	逗子・葉山 地域医療を考える会	代表 鯨岡 恵美子
2	一般社団法人 逗葉医師会	会長 池上 晃子
3	一般社団法人 逗葉歯科医師会	会長 沼田 謙一郎
4	逗葉薬剤師会	会長 中村 長三郎
5	公益財団法人 逗葉地域医療センター	理事長
6	社会福祉法人 逗子市社会福祉協議会	会長 若菜 敏孝
7	医療法人社団 葵会	第一企画部長 明石 巧
8		神奈川県企画担当部長 川崎 正芳
9	葉山町	福祉部長 仲野 美幸
10	逗子市	福祉部長 須藤 典久
11		経営企画部次長（企画・財政担当） 福本 修司
12		福祉部次長 浅羽 弥栄子
13		環境都市部次長 谷津 徹
14		消防次長 林 行雄
○	神奈川県国民健康保険団体連合会	常勤医師 白須 和裕
○	株式会社 榎コンサルタントオフィス	代表取締役 榎 孝悦
※	株式会社 川口建築設計事務所	1級建築士 川口 利之

～市民の声から考える～

この度の市民アンケート結果では、医療についてもアンケートを取っています。結果は、以下の通りでした。その他の記述では「総合病院が欲しい」といった意見等が複数ありました。

医療満足度について

「健康状況調査アンケート」結果より抜粋



医療満足度は、全体的には満足している人は61.7%となりました。

望まれる診療科目では、全体では、「皮膚科」「小児科」「アレルギー科」「耳鼻咽喉科」「内科」「整形外科」「脳神経外科」の順となりました。

望まれる診療科(順位)

順位	診療科	計	順位	診療科	乳幼児	順位	診療科	思春期	順位	診療科	青年期	順位	診療科	壮年期	順位	診療科	高齢期
1	皮膚科	35.2%	1	小児科	70.5%	1	皮膚科	39.8%	1	皮膚科	38.6%	1	皮膚科	27.6%	1	脳神経外科	24.7%
2	小児科	27.7%	2	皮膚科	51.2%	2	アレルギー科	22.6%	2	婦人科	28.7%	2	心療内科	20.9%	2	耳鼻咽喉科	2.2%
3	アレルギー科	22.9%	3	小児外科	37.2%	3	内科	21.5%	3	アレルギー科	27.7%	3	内科	19.4%	3	眼科	20.0%
4	耳鼻咽喉科	21.0%	4	小児歯科	36.4%	4	耳鼻咽喉科	20.4%	4	産婦人科	26.7%	4	アレルギー科	19.4%	4	内科	17.6%
5	内科	20.1%	5	アレルギー科	32.6%	5	整形外科	18.3%	5	小児科	26.7%	5	婦人科	18.7%	5	循環器科	17.6%
6	整形外科	13.7%	6	耳鼻咽喉科	27.9%	6	眼科	17.2%	6	耳鼻咽喉科	26.7%	6	その他	18.7%	6	整形外科	17.6%
7	脳神経外科	13.7%	7	内科	17.1%	7	外科	12.9%	7	内科	25.7%	7	脳神経外科	15.7%	7	泌尿器科	17.6%
8	眼科	13.3%	8	外科	14.0%	8	心療内科	12.9%	8	眼科	13.9%	8	循環器科	14.9%	8	神経内科	14.1%
9	小児外科	13.1%	9	整形外科	14.0%	9	産婦人科	12.9%	9	脳神経外科	12.9%	9	外科	14.9%	9	呼吸器科	14.1%
10	心療内科	12.4%	10	形成外科	9.3%	10	小児科	12.9%	10	心療内科	11.9%	10	小児科	14.2%	10	皮膚科	14.1%
11	婦人科	12.4%	11	形成外科	9.3%	11	形成外科	11.8%	11	歯科口腔外科	10.9%	11	消化器科	11.9%	11	歯科口腔外科	14.1%
12	小児歯科	12.4%	12	呼吸器科	8.5%	12	脳神経外科	10.8%	12	外科	9.9%	12	整形外科	11.9%	12	消化器科	17.9%
13	外科	12.0%	13	眼科	8.5%	13	神経内科	9.7%	13	小児外科	8.9%	13	神経内科	10.4%	13	その他	17.9%
14	その他	10.3%	14	歯科	7.8%	14	婦人科	9.7%	14	小児外科	8.9%	14	眼科	10.4%	14	心療内科	10.6%
15	循環器科	9.0%	15	矯正歯科	7.8%	15	呼吸器科	8.6%	15	産婦人科	8.9%	15	耳鼻咽喉科	10.4%	15	肛門科	10.0%
16	歯科口腔外科	8.9%	16	脳神経外科	7.0%	16	神経科	8.6%	16	整形外科	7.9%	16	歯科口腔外科	10.4%	16	アレルギー科	8.2%
17	産婦人科	8.7%	17	消化器科	6.2%	17	産科	8.6%	17	形成外科	6.9%	17	精神科	9.0%	17	歯科	8.2%
18	神経内科	8.3%	18	神経内科	4.7%	18	精神科	7.5%	18	泌尿器科	6.9%	18	泌尿器科	8.2%	18	気管食道科	7.1%
19	呼吸器科	8.3%	19	心療内科	3.9%	19	美容外科	7.5%	19	産科	6.9%	19	呼吸器科	6.7%	19	外科	8.9%
20	消化器科	8.1%	20	神経内科	3.9%	20	矯正歯科	7.5%	20	産科	6.9%	20	産婦人科	6.0%	20	精神科	8.9%
21	泌尿器科	7.7%	21	循環器科	3.9%	21	小児外科	6.5%	21	泌尿器科	6.9%	21	産婦人科	6.0%	21	精神科	8.9%
22	歯科	7.6%	22	神経科	2.3%	22	小児歯科	6.5%	22	産科	6.9%	22	産婦人科	6.0%	22	精神科	8.9%
23	形成外科	6.8%	23	神経科	2.3%	23	小児外科	6.5%	23	産科	6.9%	23	産婦人科	6.0%	23	精神科	8.9%
24	精神科	5.4%	24	神経科	2.3%	24	小児外科	6.5%	24	産科	6.9%	24	産婦人科	6.0%	24	精神科	8.9%
25	肛門科	5.4%	25	神経科	2.3%	25	小児外科	6.5%	25	産科	6.9%	25	産婦人科	6.0%	25	精神科	8.9%
26	矯正歯科	5.2%	26	神経科	2.3%	26	小児外科	6.5%	26	産科	6.9%	26	産婦人科	6.0%	26	精神科	8.9%
27	神経科	4.1%	27	神経科	2.3%	27	小児外科	6.5%	27	産科	6.9%	27	産婦人科	6.0%	27	精神科	8.9%
28	気管食道科	3.5%	28	神経科	2.3%	28	小児外科	6.5%	28	産科	6.9%	28	産婦人科	6.0%	28	精神科	8.9%
29	美容外科	3.3%	29	神経科	2.3%	29	小児外科	6.5%	29	産科	6.9%	29	産婦人科	6.0%	29	精神科	8.9%
30	産科	3.3%	30	神経科	2.3%	30	小児外科	6.5%	30	産科	6.9%	30	産婦人科	6.0%	30	精神科	8.9%
31	性病科	1.1%	31	神経科	2.3%	31	小児外科	6.5%	31	産科	6.9%	31	産婦人科	6.0%	31	精神科	8.9%

充実してもらいたい医療機能(順位)

順位	項目	計	順位	項目	乳幼児	順位	項目	思春期	順位	項目	青年期	順位	項目	壮年期	順位	項目	高齢期
1	休日等の時間外診療科目の充実	57.6%	1	休日等の時間外診療科目の充実	71.3%	1	休日等の時間外診療科目の充実	54.3%	1	休日等の時間外診療科目の充実	61.9%	1	休日等の時間外診療科目の充実	54.0%	1	総合的病院との連携体制	64.3%
2	総合的病院との連携体制	45.1%	2	小児に対する医療機能	60.3%	2	救命救急体制	34.4%	2	救命救急体制	43.5%	2	総合的病院との連携体制	51.0%	2	休日等の時間外診療科目の充実	44.4%
3	救命救急体制	43.8%	3	救命救急体制	54.7%	3	総合的病院との連携体制	32.0%	3	総合的病院との連携体制	40.0%	3	救命救急体制	46.0%	3	救命救急体制	40.1%
4	小児に対する医療機能	20.9%	4	総合的病院との連携体制	42.1%	4	災害時の医療提供機能	23.1%	4	小児に対する医療機能	34.0%	4	人間ドック・がん検診などの健康診断機能	32.8%	4	訪問診療などの在宅医療	27.4%
5	災害時の医療提供機能	23.5%	5	出産及びその前後に関する医療機能	30.0%	5	小児に対する医療機能	14.9%	5	人間ドック・がん検診などの健康診断機能	25.7%	5	災害時の医療提供機能	21.2%	5	災害時の医療提供機能	20.6%
6	人間ドック・がん検診などの健康診断機能	18.6%	6	災害時の医療提供機能	28.2%	6	人間ドック・がん検診などの健康診断機能	14.6%	6	出産及びその前後に関する医療機能	25.4%	6	小児に対する医療機能	19.3%	6	人間ドック・がん検診などの健康診断機能	19.9%
7	出産及びその前後に関する医療機能	15.7%	7	訪問診療などの在宅医療	5.9%	7	出産及びその前後に関する医療機能	11.3%	7	災害時の医療提供機能	24.1%	7	訪問診療などの在宅医療	19.0%	7	その他	4.7%
8	訪問診療などの在宅医療	12.9%	8	訪問診療などの在宅医療	5.9%	8	訪問診療などの在宅医療	8.0%	8	訪問診療などの在宅医療	6.3%	8	出産及びその前後に関する医療機能	8.0%	8	小児に対する医療機能	3.6%
9	その他	4.2%	9	その他	5.3%	9	その他	4.1%	9	その他	3.2%	9	その他	3.9%	9	出産及びその前後に関する医療機能	2.9%

「充実してもらいたい医療機能」では、全体では、「休日等の時間外診療科目の充実」「総合的病院との連携体制」「救命救急体制」「小児に対する医療機能」「災害時の医療提供機能」「人間ドック・がん検診などの健康診断機能」の順となりました。

～市の財政状況から考える～

逗子市の人口はすでに減少に転じていますが、特に生産年齢人口の減少の割合が大きく、高齢者、特に後期高齢者の人口の増加の割合が大きくなります。ということは、歳入の低下、歳出の増加につながるということです。また、現在病院を誘致できる場所は限られており、誘致を進める場合は、財政状況との検討も必要となります。



総合的病院機能検討委員会
報告書

2003年（平成15年）3月

はじめに

本委員会は、逗子市が施行した「総合的病院機能検討委員会の設置及び運営に関する要綱」に基づき、市民が要望している病院の役割・機能等について調査・検討するよう、平成14年8月27日に委員が委嘱され設置された。

本委員会に委嘱された事項は、総合的病院に期待される「役割・機能及びその他病院のあり方」に関するものであり、これまで7回の委員会を重ねてきた。その結果をここに報告する。

医療制度は今大きく変革を遂げようとしている。その変革の一つとして、医療提供体制の機能分化が進められている。かかりつけ医と入院機能を持つ病院との役割分担により、大病院の外来の患者を抑制し、また急性期の病院については在院日数を短縮する方向となっている。こうした方向は診療報酬に反映され、病院が経営を考えていく上で大きな要素となっている。

一方、逗子市民の総合的病院に期待する役割・機能は、平成14年4・5月に広報等で募集した意見等にみられるように、外来の重視と24時間救急対応、地域中核的な施設と待ち時間の少ない診療サービス、二次医療圏の大病院に見られるような総合的な診療科目の設置等であり、医療制度の変革の方向と必ずしも一致するものとはなっていない現状がある。

本委員会は、こうした医療制度の流れや市民の要望等を踏まえ、かつ、重要度や実現可能性等についても検討したが、これを一つにまとめることを避け、多様な視点から望ましい方向について、示すこととした。

今後、進出病院を含めた新たな協議会を設置し、具体的事項の議論により、市民の利用しやすく、望まれる病院が構築されることを期待する。

また、市長においては、本委員会の報告事項を広く市民に周知すると共に更なる市民意見の募集、またそれらの実現について努力されることを要請する。

I 総合的病院の位置付けについて

- ・高度医療機器の地域医療機関との共同利用や開放型病床による共同診療（オープンシステム）等を含めて、地域の医療機関と連携し、協力して市民の健康を守る関係を構築し、地域医療のレベルアップにつながるような病院が望ましい。
- ・二次医療圏の中の一角として近隣の総合的病院とも連携し、二次救急などの一翼を担うことができる病院である必要がある。
- ・震災等の災害時において、医薬品のストックなどを含め地域の医療救助活動の核となる病院が望ましい。

II 診療科目等について

①外来機能

- ・医療法の改正や病診の機能分担を図る医療行政の改革の方向性、また、外来患者が多くなると混雑し待ち時間等長くなり利用者にとって不便であること等を考え、地域医療機関と連携した「制度にとらわれない紹介型」を中心とした外来機能が望ましいという意見があった。
- ・これに対し初診でも行けば診てもらえるという従来型の外来機能を中心とした病院を望む意見や紹介を中心とする病院であっても一般外来をできるだけ受け入れることが望ましいという意見があった。
- ・外来患者を地域の医療機関へ紹介するいわゆる「逆紹介」については、紹介を受けて受診した患者についてだけでなく、紹介なしで訪れた初診患者についても可能な範囲で地域医療との連携のもと地域医療機関を紹介するシステムを構築することが望ましい。

②診療科目について

- ・できるだけ広い診療科目を設けて欲しいという意見がある一方で 300 床程度の入院機能で面積的にも決して大きくない病院では限界が当然ある。そうした点を検討し、逗子・葉山地域の医療圏で不足しがちな診療科目を中心に特徴のある診療科目の設置が望ましい。

*小児科

・特に近年、逗子市内だけでなく全国的に不足がちであるが、本病院では必須なものとして設置を望む。その上でさらに小児外科や小児皮膚科などが充実されることが望ましい。

*脳神経外科

・近隣の医療機関で手薄であり、緊急処置が必要な疾患である可能性が高いものなので、必須なものとして設置を望む。その規模については、脳血管センターのような大規模なものとする他、他の診療科を圧迫する恐れがあるが、緊急処置や必要な手術ができるだけでなく、早期リハビリを含めて充実されることが望ましい。

*心臓等循環器科

・近隣に専門の医療機関があることから、重症者はそこに任せることでよいが、緊急処置として心臓カテーテル程度の処置ができるものは必要である。

*総合診療科

・何科を受診してよいか分からない場合や種々の相談ができるような診療科（総合診療科）の設置を検討して欲しい。

*臓器別診療科と老人科

・一つの科に、内科系と外科系の医師が集まり総合的診療をしてもらえる臓器別の診療科が良いとする意見が多い。
・ただし、高齢者は色々な病気に複合してかかることが多く、臓器別では診療科を決める難しさがあるうえ、逗子市は高齢者が多いことから老人科の設置が望まれる。

*他に診療科として意見がでたもの

・泌尿器科、耳鼻科、眼科が逗子市には少ないので必要と考える。
・近年、心の病で悩んでいる人が多いので心療内科的部門が必要と考える。
・交通事故などで需要が多いので入院診療ができる整形外科が必要である。
・脳神経疾患の初期リハビリだけでなく、リハビリテーション部門の充実が必要である。
・訪問看護や訪問医療が充実するよう協力して欲しい。
などの意見がでている。

- ・広報等で募集した市民意見の中には、これらの診療科目以外には、皮膚科、産婦人科、糖尿病に対応する診療科、また、核事故に一時救急的に対応できる科の設置を望む意見があった。

③患者との対応について

- ・広報等で募集した意見では、きちんとしたカルテに関する情報開示と診療に際してのインフォームドコンセントを求める意見が多く寄せられているが、これらについては、当然のことと捕らえている。

Ⅲ 救急機能について

- ・広報等による市民の意見の中には、365日、24時間の救急、特に小児救急について、実施を望む声大きい。

- ・しかし、現実的に300床規模の病院でこれを実施しようとした場合には、経営的に困難であり、市としても大きな負担をせざるを得ない状況になる可能性がある。それゆえ、地域の医療機関、特に（財）逗葉地域医療センターとの分担・連携により、現状の一次救急を充実する形を構築することが必要である。それによって、小児救急の充実を図ることはぜひ実現すべきである。

- ・また、二次救急についても二次医療圏にある総合的病院と連携することにより、現在の二次救急体制の更なる充実を要望する。

- ・精神科救急への対応も今後検討すべき問題である。

Ⅳ 住民参加等

- ・外来での障害者やお年寄りへの介助、入院患者の身の回りの補助など可能な限りボランティアを受け、活用できる病院であり、またその研修体制などをきちんと構築することにより地域と連帯感のある病院を目指して欲しい。

- ・地域住民の意見や要望等を検討し、その実現を図る住民・地域医療関係機関・行政・進出する病院からなる協議会を設置し、地域医療の向上・充実のため定期的な話し合いの場の設定が必要である。

- ・病院のレベルアップや真に住民ニーズにあった病院とするため、病院の運営の仕方、薬の出し方やサービスその他の問題を評価することができるよう平均在院日数、死亡率、院内感染の発生率等の客観的データをいつでも公表すべきである。

- ・(財) 逗葉地域医療センター等と協力することにより、住民の予防医学や救急救命等の講習会を実施し、地域住民の保健医療の啓発を推進して欲しい。

V 病院の建物、サービス等について

- ・建物は清潔で、気持ちよい建物であり、検査・治療に行くのに分かりやすい動線であることが必要である。
- ・「待ち時間」に対する配慮を行って欲しい。
- ・できる限り最新の高度医療機器をそろえ、また、それらをきちんと活用できる技師等のスタッフの充実が必要である。
- ・スタッフの教育には力を入れて欲しい。
- ・広報等で募集した意見では、入院患者の食事の充実や外来・見舞い客用の食堂の設置、多品目をコンビニ的に扱う売店の設置などを求める意見が寄せられている。
- ・建物の設計は、近隣の環境及びみどり豊かなレイアウトに配慮することが望まれる。

診療科目における健康増進計画、総合的病院機能検討委員会報告書及び葵会提案の対比について

平成27年3月策定 逗子市健康増進計画でのアンケート結果 望まれる診療科目			平成15年3月作成 総合的病院機能検討委員会報告書 逗葉地域に望ましい診療科目 ()は類似する診療科目	葵会が提案した診療科目
順位	割合 (%)	診療科目	診療科目	診療科目
1	35.2	皮膚科	皮膚科、(小児皮膚科)	皮膚科
2	27.7	小児科	小児科	小児科
3	22.9	アレルギー科		
4	21.0	耳鼻咽喉科	(耳鼻科)	耳鼻咽喉科
5	20.1	内科	(糖尿病に対応する診療科)	内科
6	13.7	整形外科	整形外科	整形外科
7	13.7	脳神経外科	脳神経外科	脳神経外科
8	13.3	眼科	眼科	眼科
9	13.1	小児外科	小児外科	
10	12.4	心療内科	心療内科	
11	12.4	婦人科	(産婦人科)	(産婦人科)
12	12.4	小児歯科		
13	12.0	外科		外科
14	10.3	その他		
15	9.0	循環器科	(心臓等循環器科)	循環器科
16	8.9	歯科口腔外科		
17	8.7	産婦人科	産婦人科	産婦人科
18	8.3	神経内科		
19	8.3	呼吸器科	(臓器別診療科)	
20	8.1	消化器科	(臓器別診療科)	
21	7.7	泌尿器科	泌尿器科	泌尿器科
22	7.6	歯科		
23	6.8	形成外科		
24	5.4	精神科	精神科	
25	5.4	肛門科		
26	5.2	矯正歯科		
27	4.1	神経科		
28	3.5	気管食道科	(臓器別診療科)	
29	3.3	美容外科		
30	3.3	産科	(産婦人科)	(産婦人科)
31	1.1	性病科		
アンケートに無かった診療科目等			総合診療科	
			老人科	
			リハビリテーション部門	リハビリテーション科

医療分析のデータについて

平成 19 年度に分析した医療分析が、現在の検討資料として参考にできるか否かについて

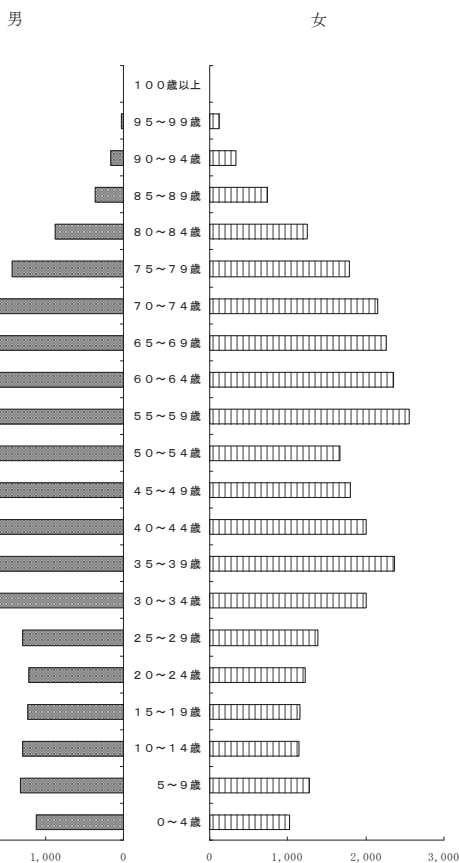
国民健康保険のシステムが過年度より変わり、纏まったデータ取出しが極めて困難となっている。平成 20 年度より後期高齢者が本市の被保険者から外れたため、さらに全体像の把握ができなくなっている。それにより、10 年前のデータを使わざるを得ない状況である。また、逗子市内、周辺の医療機関の状況が大きく変わっていないため、10 年前と現在では、似たような傾向になっていると考えられる。

平成 18 年度	
世帯数	23,472
人数	58,406

平成 28 年度	
世帯数	24,318
人数	56,462

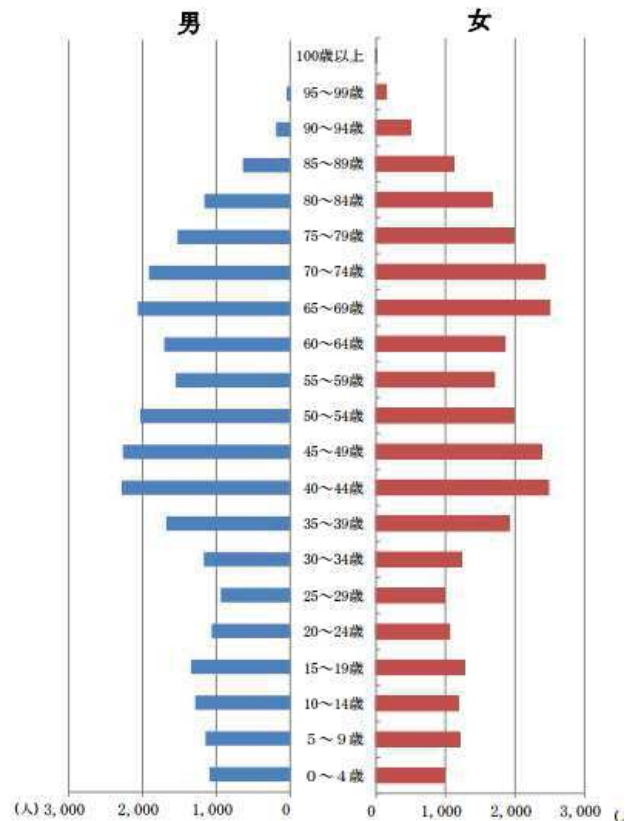
2-2 人口の年齢別構成

平成19年1月1日現在



資料：神奈川県年齢別人口統計調査

2-2 人口の年齢別構成 (平成27年1月1日現在)



資料：年齢別人口統計調査

9-1 医療施設数

(各年度末現在)

年度別	病院	診療所	歯科
平成 15 年度	2	61	38
16 年度	2	64	39
17 年度	2	63	39

資料：鎌倉保健福祉事務所

8-1 医療施設数

(各年度末現在)

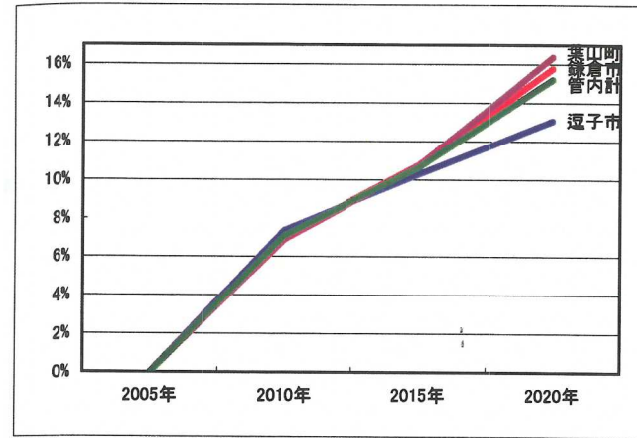
年度別	病院	診療所	歯科
平成23年度	2	63	44
24年度	2	66	45
25年度	2	71	45
26年度	2	66	46

資料：鎌倉保健福祉事務所

今後の予測患者数（鎌倉市・逗子市・葉山町）

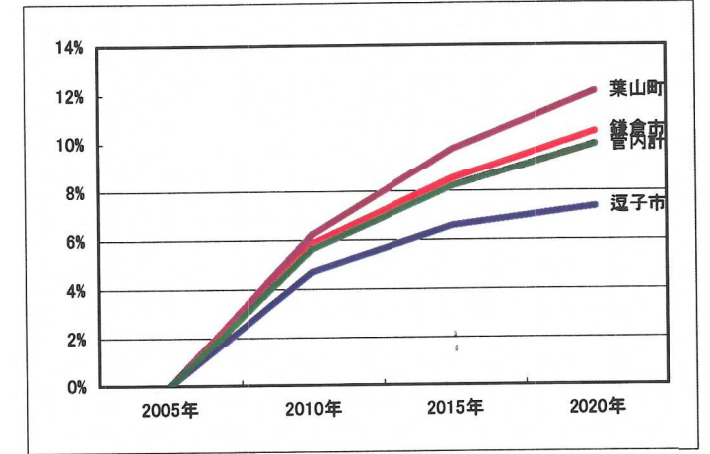
予測患者数推移(入院)

総数	2005年 (平成17年)	2010年 (平成22年)	2015年 (平成27年)	2020年 (平成32年)	2005-2020 年増加率
鎌倉市	1,730	1,852	1,916	2,003	15.8%
逗子市	620	666	684	701	13.1%
葉山町	319	341	353	371	16.4%
管内計	2,668	2,858	2,953	3,075	15.2%



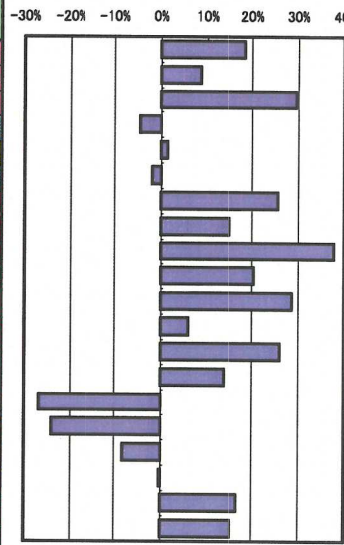
予測患者数推移(外来)

総数	2005年 (平成17年)	2010年 (平成22年)	2015年 (平成27年)	2020年 (平成32年)	05-20年 増加率
鎌倉市	7,228	7,652	7,845	7,985	10.5%
逗子市	2,570	2,691	2,740	2,760	7.4%
葉山町	1,301	1,382	1,428	1,459	12.1%
管内計	11,100	11,725	12,012	12,203	9.9%



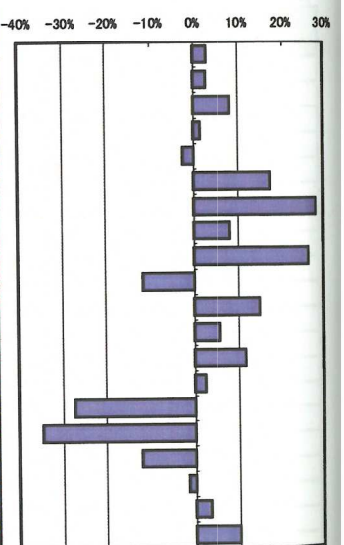
疾病別・管内

疾病19分類(ICD-10)	2005年 (平成17年)	2010年 (平成22年)	2015年 (平成27年)	2020年 (平成32年)	2005-2020 年増加率
1 感染症及び寄生虫症	61	66	69	72	18.5%
2 新生物	336	352	357	365	8.6%
3 血液造血器、免疫障害	12	14	15	16	29.5%
4 内分泌、栄養代謝疾患	95	95	87	90	-4.5%
5 精神及び行動の障害	617	618	614	626	1.5%
6 神経系の疾患	115	116	110	112	-1.8%
7 眼及び付属器の疾患	25	29	31	32	25.5%
8 耳及び乳様突起の疾患	7	8	8	8	15.0%
9 循環器系の疾患	542	630	696	747	37.6%
10 呼吸器系の疾患	152	168	175	183	20.4%
11 消化器系の疾患	173	196	213	222	28.5%
12 皮膚・皮下組織の疾患	17	18	18	19	6.1%
13 筋骨格系結合組織疾患	130	146	156	164	26.0%
14 尿路性器系の疾患	77	82	85	88	13.8%
15 妊娠、分娩・産じょく	32	29	25	23	-26.8%
16 周産期に発生した病態	10	10	8	7	-24.1%
17 先天奇形、変形	11	11	11	10	-8.1%
18 症状、徴候、異常所見	48	49	46	48	-0.3%
19 損傷・中毒、外因影響	208	223	229	243	16.6%
20 合計	2,668	2,858	2,953	3,075	15.2%

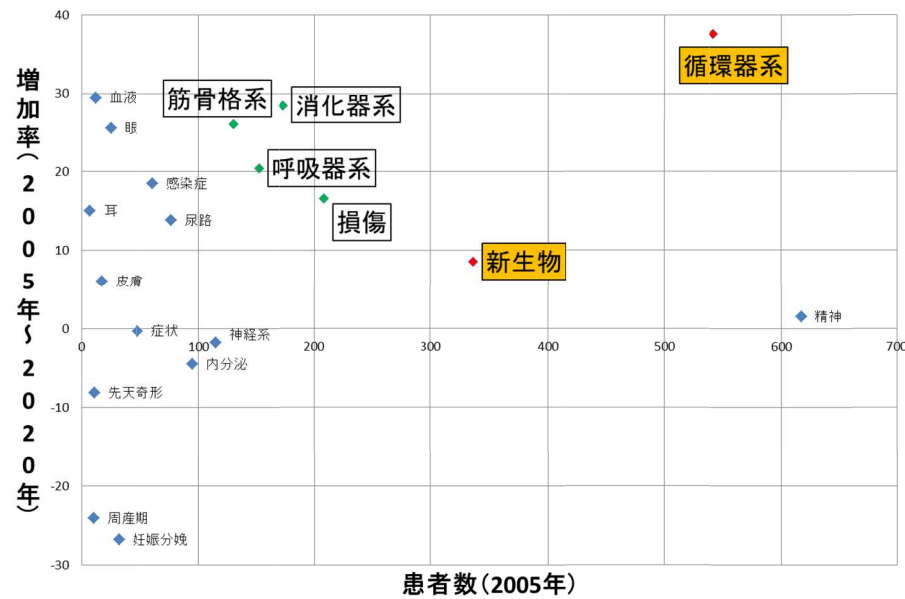


疾病別・管内

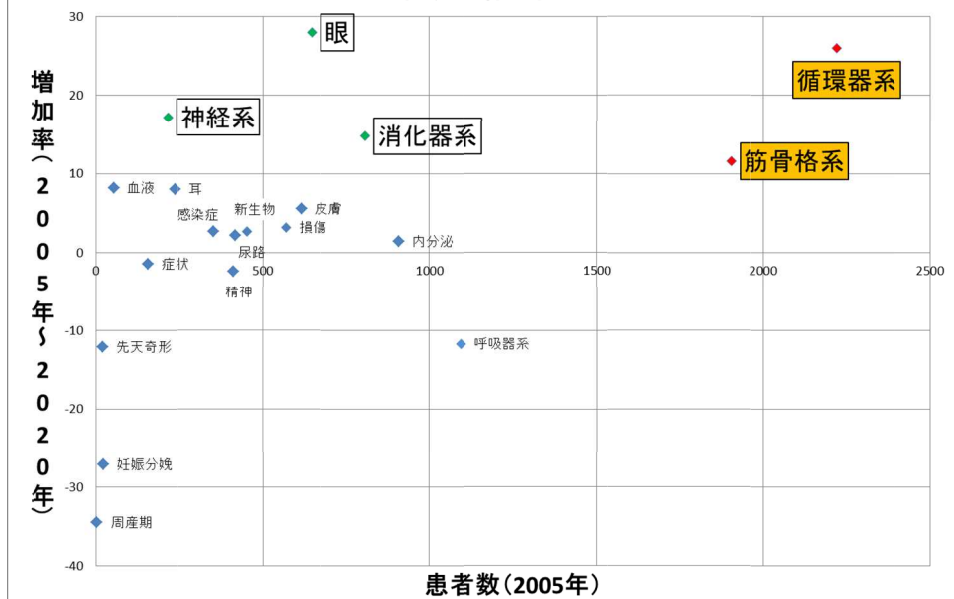
疾病19分類(ICD-10)	2005年 (平成17年)	2010年 (平成22年)	2015年 (平成27年)	2020年 (平成32年)	05-20年 増加率
1 感染症及び寄生虫症	351	360	363	361	2.7%
2 新生物	452	464	462	464	2.7%
3 血液造血器、免疫障害	53	55	57	58	8.2%
4 内分泌、栄養代謝疾患	907	919	903	920	1.4%
5 精神及び行動の障害	411	411	400	401	-2.4%
6 神経系の疾患	215	234	247	252	17.2%
7 眼及び付属器の疾患	647	733	804	828	28.0%
8 耳及び乳様突起の疾患	236	251	256	254	8.0%
9 循環器系の疾患	2,219	2,482	2,679	2,796	26.0%
10 呼吸器系の疾患	1,095	1,082	1,012	967	-11.7%
11 消化器系の疾患	807	867	909	926	14.8%
12 皮膚・皮下組織の疾患	615	645	657	649	5.6%
13 筋骨格系結合組織疾患	1,904	2,016	2,062	2,125	11.6%
14 尿路性器系の疾患	418	424	426	427	2.2%
15 妊娠、分娩・産じょく	22	20	17	16	-27.1%
16 周産期に発生した病態	3	3	3	2	-34.5%
17 先天奇形、変形	20	20	18	18	-12.1%
18 症状、徴候、異常所見	155	156	152	153	-1.4%
19 損傷・中毒、外因影響	569	585	586	587	3.2%
20 合計	11,100	11,725	12,012	12,203	9.9%



患者数vs増加率(入院)



患者数vs増加率(外来)



増加率が高い疾病は、今後徐々に患者数が増加していくものと考えられる。

患者数が多く、増加率も高い疾病は、今後さらなる増加が懸念される。

考察：高齢者の増加と共に、高齢期に受療しやすい診療科目の患者数が増える(→右向きの移動。皮膚科、内分泌、消化器、眼科など)。加えて、増加率が高い(↑上向きの移動)疾病の場合、十分な受け入れ体制の構築が必要であると考えられる。(循環器系、新生物、筋骨格系)

総合的病院誘致について

市民の皆様へ

総合的病院誘致の可能性が出てきました。175床の割り当てを今年度、県が行います

逗子市は、平成 21 年に逗子聖ヨゼフ病院計画が断念となった以後も、総合的病院誘致の可能性を模索し、県に対して病床確保の要望を継続して行ってきました。そのような中、今年度、横須賀共済病院分院（旧北部共済病院）の閉院等によって 175 床の病床が返上されたため、県が 10 月から病床割り当ての申請手続きを行うこととなりました。

逗子市としてはこの機を逃さず、総合的病院誘致に取り組んでまいります。誘致場所としては、沼間 3 丁目市有地が適地であると判断し、公募による選考の準備を進めています。過去に様々な経緯があった総合的病院誘致ですが、多くの市民が熱望している長年の課題であり、実現に向けて皆様のご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

逗子市長 平井 竜一

【 説明会 日程 】

9月22日(木) 午前10時～ アーデンヒル自治会説明会 沼間中学校 体育館

10月9日(日) 午後1時 30 分～ 市民説明会 市役所5階 会議室

2016年(平成28年)9月

お問い合わせ 逗子市福祉部国保健康課 046-873-1111 (内線243)

1. はじめに...総合的病院の必要性は高まっています

高齢化が進む逗子市において、医療・介護サービスの充実、安心して暮らすことのできるまちづくりにとって、たいへん重要なテーマです。

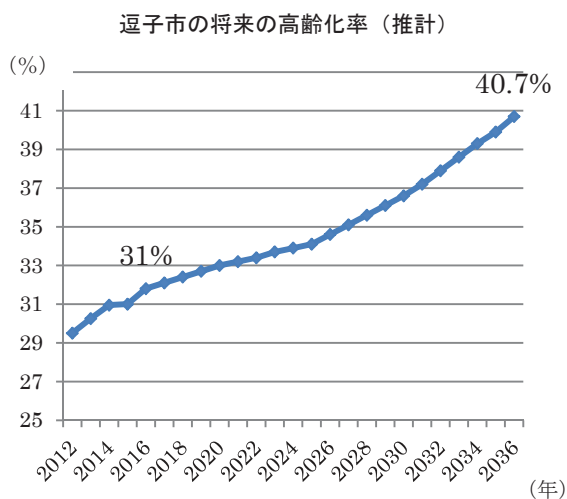
横須賀・三浦医療圏内にいくつもの病院がありながら、逗子・葉山には地域医療の中核を担う病院がないため、救急も入院も市外の病院に頼らざるを得ず、多くの市民が総合的病院の実現を強く望んできました。また、現在進めている在宅医療の連携体制づくりや災害時医療の確保など、総合的病院の必要性はますます高まっています。

今回、改めて、地域医療の一層の充実を図るため、総合的病院誘致の実現に向けて全力で取り組む所存です。

➤ 高齢化率は31%。今後、ますます高齢化が進み医療ニーズは増えていきます

逗子市は県内でも特に高齢化の進んでいる地域です。今年9月現在、65歳以上の占める割合は31%を超えました。人口推計では20年後に高齢化率は40%を超えると予測されています。

特に75歳以上の後期高齢者はすでに約1万人となり、医療・介護のニーズは今後一層高まります。高齢になるほど、近くに整った医療環境があることが、安心して暮らすことができるまちの重要な要素となります。



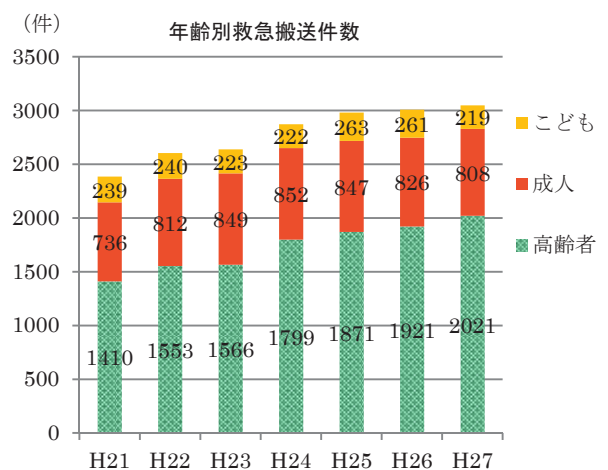
➤ 在宅医療には後方支援病院が必要

超高齢化社会を迎え、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるまちをつくるため、現在、医師会・歯科医師会・薬剤師会・逗葉地域医療センター・介護事業者及び葉山町と協働で、在宅医療・介護の連携体制の検討を進めています。

在宅医療を支えるためには、かかりつけ医と連携し、緊急時に入院を受け入れてもらう後方支援病院が必要となりますが、逗子・葉山には在宅療養後方支援病院や地域医療支援病院の要件である200床以上の病院がないので、連携先に苦慮しています。在宅での医療・介護のしくみ（地域包括ケアシステム）づくりを推進するためにも、総合的病院が必要です。

➤ 救急件数は大幅増。特に命にかかわる高齢者の救急増加が著しい

高齢化が進むにつれて救急搬送件数は増え、平成21年に年間2,385件だったものが、平成27年には年間3,048件で、約28%増となっています。その内、高齢者は2,021件で全体の3分の2を占め、今後、さらに増加することが予測されます。特に重症患者の内、高齢者は約80%を占めており、救急体制の強化が求められています。

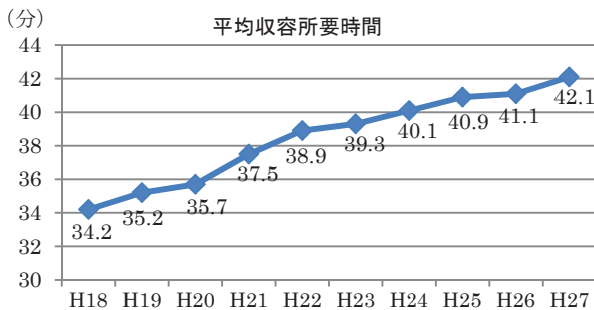


➤ 救急搬送時間は年々増え42分以上。病院誘致によって大きく改善できます

市内に救急の受け入れ可能な総合的病院がないため、逗子市の救急搬送は平成27年実績で平均42.1分かかっており、近隣他市と比べて多くの時間を要しています。鎌倉35.1分、横須賀38.7分、葉山は46.5分となっています。

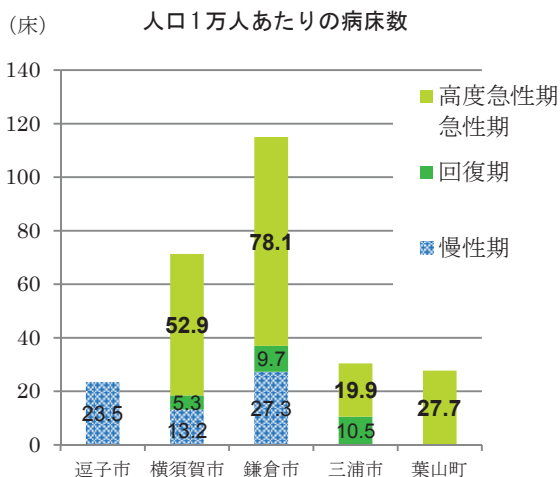
また、高齢の救急増加や救急業務の高度化等により、この10年間で、平均7.9分も搬送時間が長くなっています。

救急医療に地域的な偏りがあることは明らかであり、逗子市に総合的病院が実現すれば、この状況を大きく改善できます。



➤ 病院が偏在している三浦半島。急性期から回復期・慢性期・終末期までトータルに支える医療を整えることが重要

人口1万人あたりの病床数を比較すると、三浦半島は横須賀市と鎌倉市に病院が偏っています。しかも逗子市には慢性期しかなく、急性期と回復期がありません。総合的病院の誘致によって、このアンバランスを解消し、急性期から回復期・慢性期・終末期まで、市民の命を支えるトータルな医療環境を整えることが大切です。



➤ 安心して子育てできる環境のために、小児科の充実を

逗葉地区において、かつて19医院あった小児科を標ぼうされている医院は、現在、11医院になっています。安心して子育てできる環境をつくるため、さらなる小児科の充実が求められています。



➤ 大規模災害時に市民の命を守る医療体制の強化が必要です

大震災、台風による洪水、火山の噴火など、大規模災害のリスクは高まっています。災害時には逗葉地域医療センターが医療活動拠点となりますが、センターに医師が常駐している訳ではありません。もしもの時、三方を山に囲まれた逗子市の医療体制は極めて脆弱です。大規模災害時に市民の命を守るために、総合的病院は大きな役割を果たします。

➤ 多くの市民が総合的病院の実現を待ち望んでいます

平成7年度、平成12年度に行った「まちづくりに関する市民意識調査」では、70%を超える市民が総合的病院を要望しています。

また、平成23年度に実施した同調査においても、「病院や診療所に行くのに便利なまち」を望む声が56.9%に及んでいます。さらに、市外に移りたい人の理由では「医療施設が整っていない」との回答が上位になるなど、総合的病院がないことが市民生活において不安や不満を感じる最大の要因であり、多くの市民が病院の実現を待ち望んでいます。

急性期：症状が急激に現れる時期

回復期：患者の容体が危機状態から脱し、身体機能の回復を図る時期

慢性期：病状は比較的安定しているが、治療が困難な状態が続いている時期

終末期：病気が治る可能性がなく、死を迎えることが予想される時期

2. 病院誘致にあたっての基本的考え方

今回、改めて総合的病院を誘致するにあたり、候補地や求める病院機能など、市の基本的な考え方は次のとおりです。



➤ 候補地は沼間3丁目市有地のほかにはありません

平成18年に病院公募を行ったときは、池子米軍住宅地内と沼間3丁目市有地の2か所を候補地としました。現在、池子には日米共同使用による「池子の森自然公園」が整備され、市内には沼間3丁目市有地のほかには病院を誘致可能な土地はありません。

➤ 病院用地は無償貸与とします

前回と同様、病院用地は無償で貸与する方針です。なお、進出する病院が公的病院であれば市の判断で無償貸与が可能です。一般の医療法人の場合、市の土地を無償で貸与するためには議会の議決が必要となります。

➤ 市から運営費・建設費補助や赤字補てん、二次救急委託はしません

市は病院に対して運営費、建設費や赤字補てんの補助は一切しません。また、前回の逗子聖ヨゼフ病院の際には市が24時間365日の二次救急を年間1億3千万円で委託する方針を出しましたが、厳しい財政状況の中、その是非が問われました。したがって、今回は二次救急の委託はしません。

➤ 救急医療の充実（二次救急輪番制への参加等）を要請します

救急医療は、まず、横須賀三浦医療圏内の二次救急輪番制への参加を基本として、将来的には病院の経営努力によって24時間365日に近付けるよう、救急患者受入れの拡充を要請します。

➤ 小児科や産科の充実を要請します

小児科の設置を要請するとともに、三浦半島全体として不足している産科についても設置を要請します。

➤ 病院は最低200床以上が必要

在宅療養後方支援病院や地域医療支援病院の承認を得るには200床以上が条件となっています。また、救急を含めた総合的な機能を果たし、なおかつ経営的に安定して運営するためには、一般的に250床程度の規模が必要とされていることから、市としては最低で200床以上、できれば250床程度の計画を提案いただける病院を求める考えです。

➤ 総合的病院機能検討委員会報告書や前回の公募要項を基本としつつ、在宅医療の後方支援や回復期など医療ニーズを的確にとらえた機能を求めます

前回の公募要項を基本として、救急医療の充実を含め、在宅医療の後方支援病院の役割、高齢化にもなるとニーズが高まっている回復期など、地域の医療ニーズを的確にとらえ、病床の規模に応じてバランスよく機能を配置した病院を要請します。



二次救急輪番制：入院治療や手術を必要とする重症患者に対応する救急医療に参加する9つの病院が順番で、夜間及び日曜、祝日、年末年始などの診療を行うこと。

3 . 病院誘致の今後の取り組み



総合的病院の実現には、まず、進出病院を確保するために公募を実施しなければなりません。したがって、病院の選考委員会設置に必要な補正予算を9月議会に提案し、承認され次第、直ちに公募する予定です。その後の取り組みや課題、スケジュール等の概要を次にご説明します。

➤ **10月に公募を実施して12月上旬までに進出病院を決定します**

補正予算可決後、10月に総合的病院の公募を行い、進出病院の応募を受け付けます。募集期間は約1か月半とする予定です。

➤ **専門家の委員会において最も評価の高い病院を選考します**

公募条件を踏まえて応募病院が提出した計画を専門家で構成する選考委員会で審査したうえで、最も安定して運営できる法人を決定します。



➤ **県からの割り当て病床を含め、市が求める規模の病床が確保できた場合、建築計画の検討や条例等の手続き、道路・バス路線などの周辺環境対策に取り組みます**

進出病院が決まった場合、12月上旬に締め切り予定である県への申請手続きを病院が行います。その後、県が計画内容を審査して来年3月までに病床割り当てを決定する予定です。

市が求める病院が誘致できた場合、建築計画の検討、都市計画法・建築基準法・条例等の手続き、道路や交差点改良・バス路線の導入などの周辺環境対策に取り組みます。

➤ **市が求める規模の病床が確保できない場合、神奈川県の下期医療計画において病院誘致の実現に取り組みます**

今回、市が求める病床が確保できない場合は、平成30年度から始まる神奈川県の下期医療計画の中で、病床を確保し、総合的病院の誘致を目指します。

◆ **前回の逗子聖ヨゼフ病院計画**

参考のために、逗子聖ヨゼフ病院計画の概要を掲載します。

名 称	逗子聖ヨゼフ病院
病 床 数	一般病床 225 床
診 療 科 目	内科（脳）神経内科 外科 整形外科 産婦人科 小児科 眼科 耳鼻咽喉科 皮膚科 泌尿器科 リハビリテーション科 放射線科
救急診療体制	365日24時間診療／内科系（神経内科含む）・外科系 週2回の24時間診療／小児科

※平成19年に県が172床を複数の病院に割り当てましたが、聖ヨゼフ病院はその内の43床を得て、横須賀で運営している182床を合わせて225床の病院計画を策定しました。

4 . 総合的病院誘致のこれまでの経緯



総合的病院誘致のこれまでの経緯についてご説明します。

➤ 総合的病院の誘致と市民の期待

昭和 59 年、米軍家族住宅受け入れにあたって国への 33 項目の申し入れの中に「医療施設の建設と用地の確保」が盛り込まれました。

そして、平成 6 年 11 月の国・県・市の三者合意を踏まえて、平成 10 年 3 月に池子提供施設内の久木に隣接した区域に国より病院用地が提示されました。

➤ 湘南病院の進出断念

池子提示地で追浜の湘南病院が平成 10 年に病床の増床承認を取得しましたが、その後、医療経営環境の悪化、用地購入をはじめ建設費・運営費等の市負担が難しく、平成 13 年 5 月、湘南病院は進出を断念しました。

それ以後様々な努力を行いましたが、国の提示地は、公的病院に限られること、払い下げ条件が有償であったことなどから、池子に進出する公的病院はありませんでした。

➤ 沼間3丁目市有地について

池子以外の公有地への誘致の可能性を検討する中、沼間 3 丁目市有地は、教育委員会が第六小学校建設を断念し、沼間小学校も移転しない方針を決めたことから、病院用地として適地とされました。

➤ 逗子共済病院の進出と断念

このような状況の中で、国家公務員共済組合連合会（以下、「KKR」という）から「池子提供地では難しいが沼間 3 丁目の土地であれば進出を検討したい」との意向が示され、KKRは県との事前協議を経て、平成 15 年 10 月に沼間 3 丁目市有地での逗子共済病院の開設許可を取得しました。しかし、KKRは平成 17 年 3 月に進出を断念し、開設許可を県に返上しました。

➤ 逗子聖ヨゼフ病院の進出と断念

その後、市は平成 18 年 4 月に池子の国の提示地と沼間 3 丁目市有地の 2 か所を候補地とした公募を実施し、同年 10 月に社会福祉法人聖テレジア会が運営する聖ヨゼフ病院の沼間 3 丁目市有地への移転計画を選考し、病院開設許可や条例等の手続きを進めましたが、平成 21 年 7 月に社会福祉法人聖テレジア会が進出を断念しました。

➤ 平成 27 年度スタートの総合計画に引き続き、総合的病院の誘致が重要課題として位置づけられました

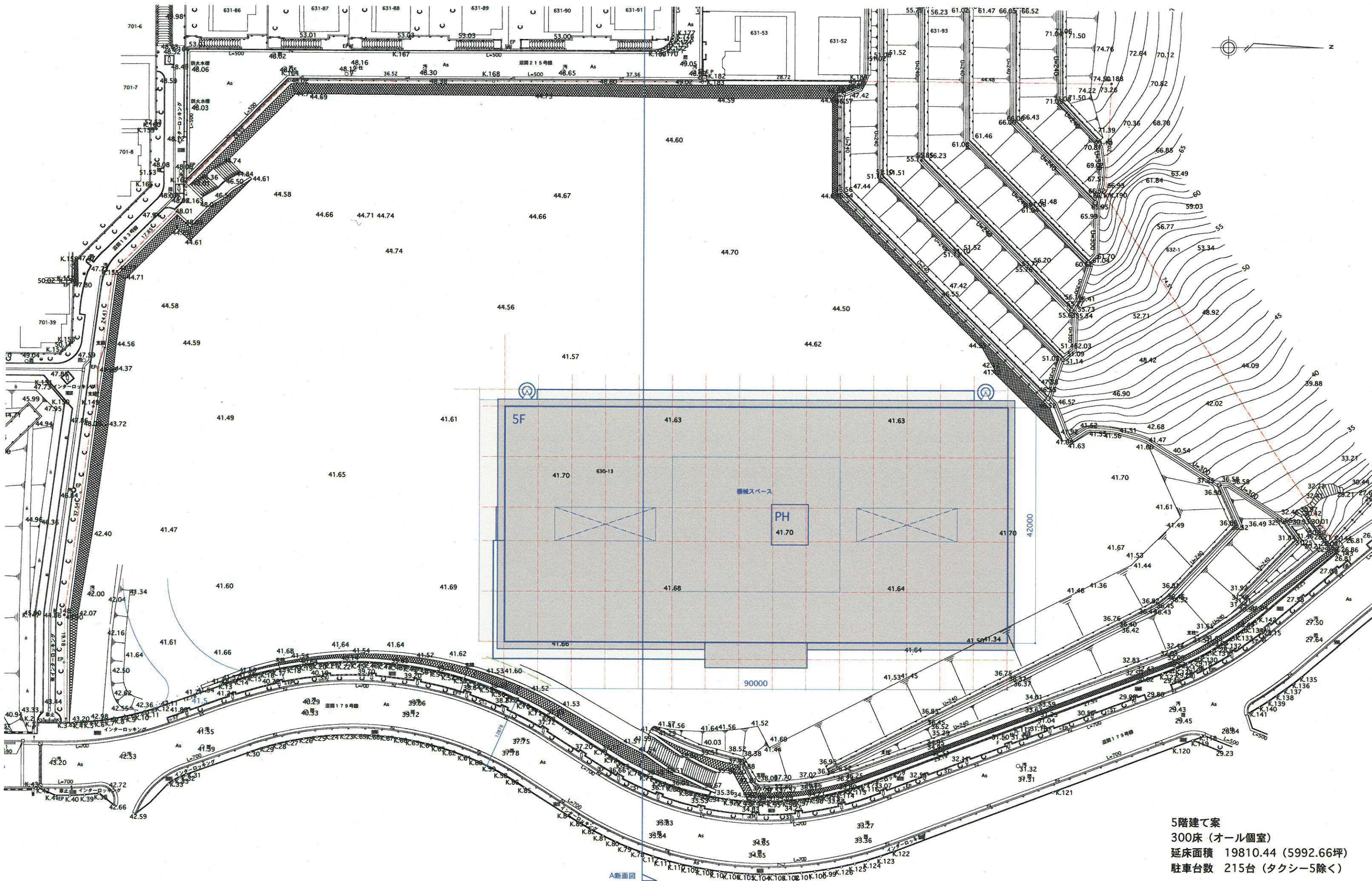
市民参加によって案を策定し、平成 27 年市議会第 1 回臨時会において議決された総合計画には、重要課題として引き続き、総合的病院の誘致が位置付けられています。

総合的病院誘致についてのご意見を下記にお寄せください

F a x 0 4 6 - 8 7 3 - 4 5 2 0 E-mail kenkou@city.zushi.kanagawa.jp


郵送 〒249-8686 逗子市逗子5-2-16

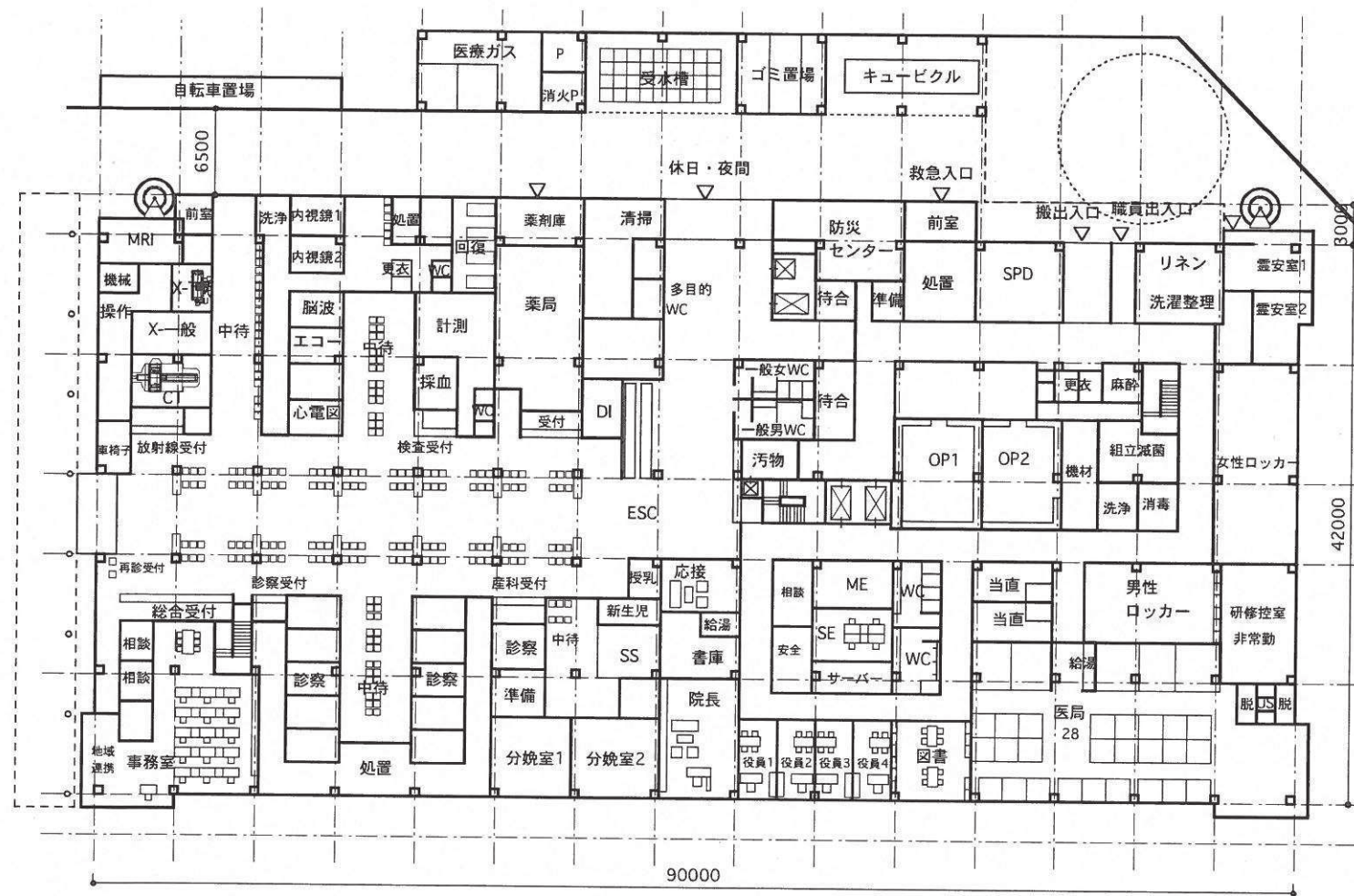
逗子市福祉部国保健康課



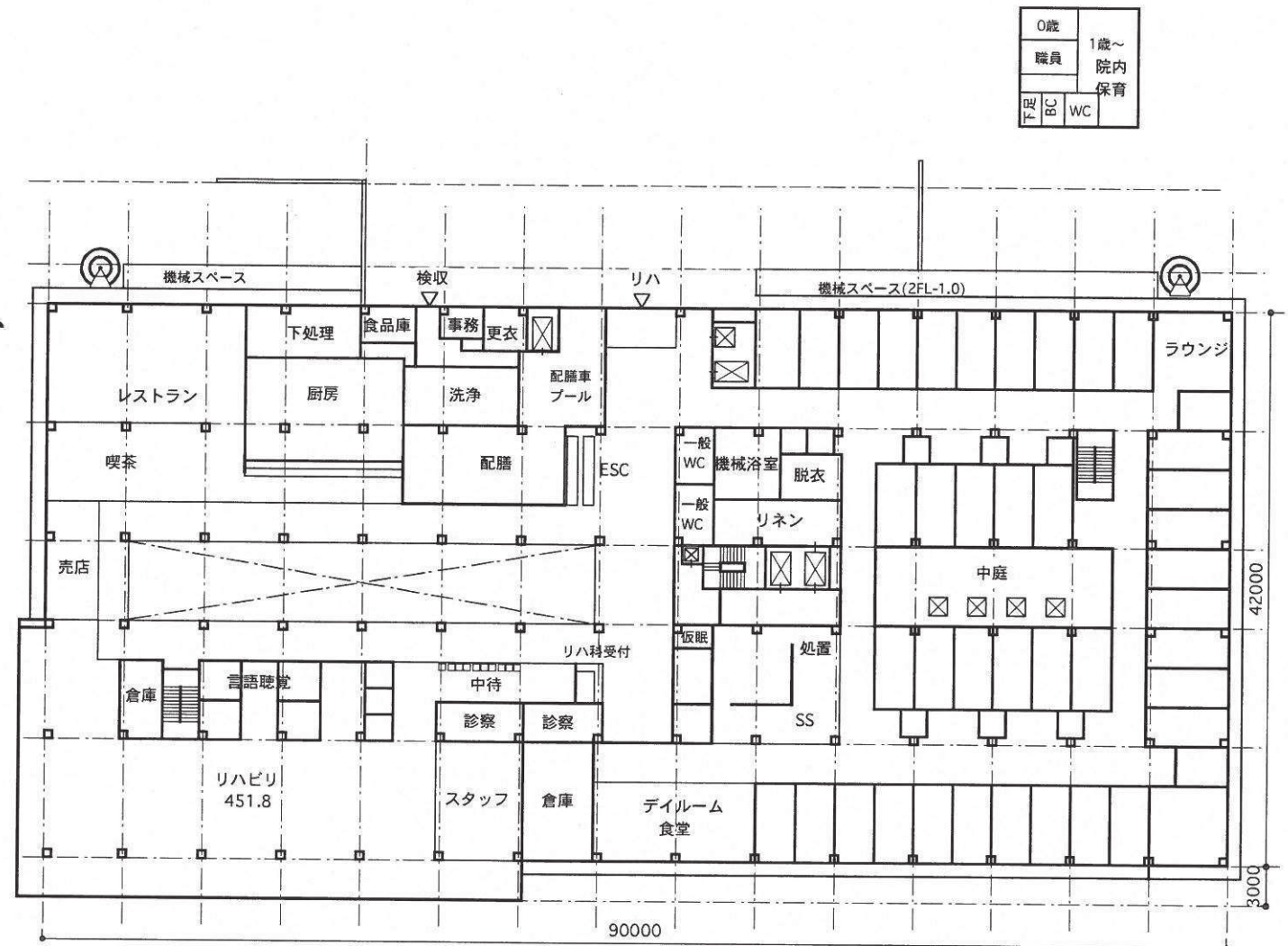
5階建て案
 300床（オール個室）
 延床面積 19810.44 (5992.66坪)
 駐車台数 215台（タクシー5除く）

A断面図

 TOSHIYUKI KAWAGUCHI ARCHITECT OFFICE 川口建築設計事務所	PROJ.NO 1609	PROJECT (仮称) 葵会返子病院新築工事	NO 1-02
	1級 198885号 川口 利之	TITLE 配置図	SCALE 1/600

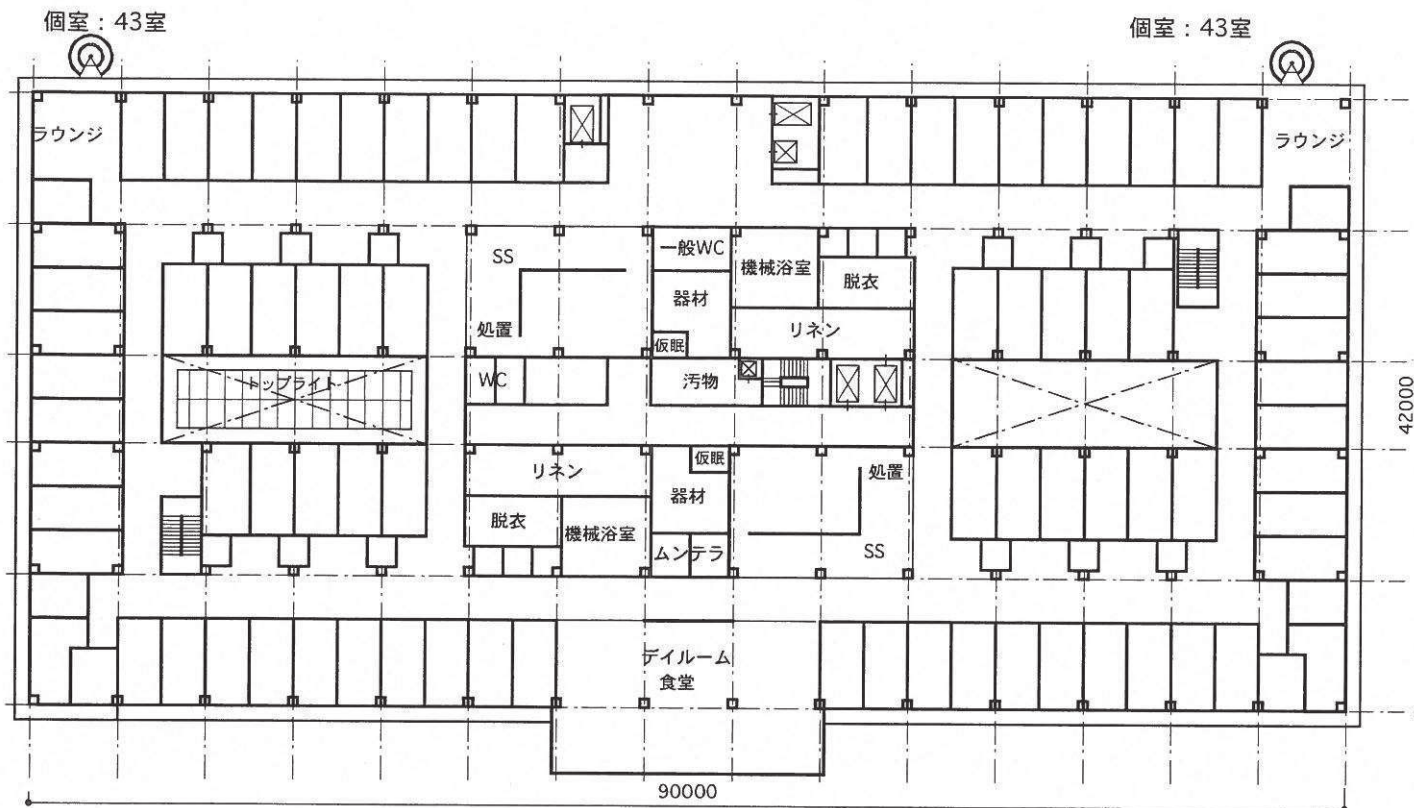


1階平面図 外来、管理、OP 4591.92

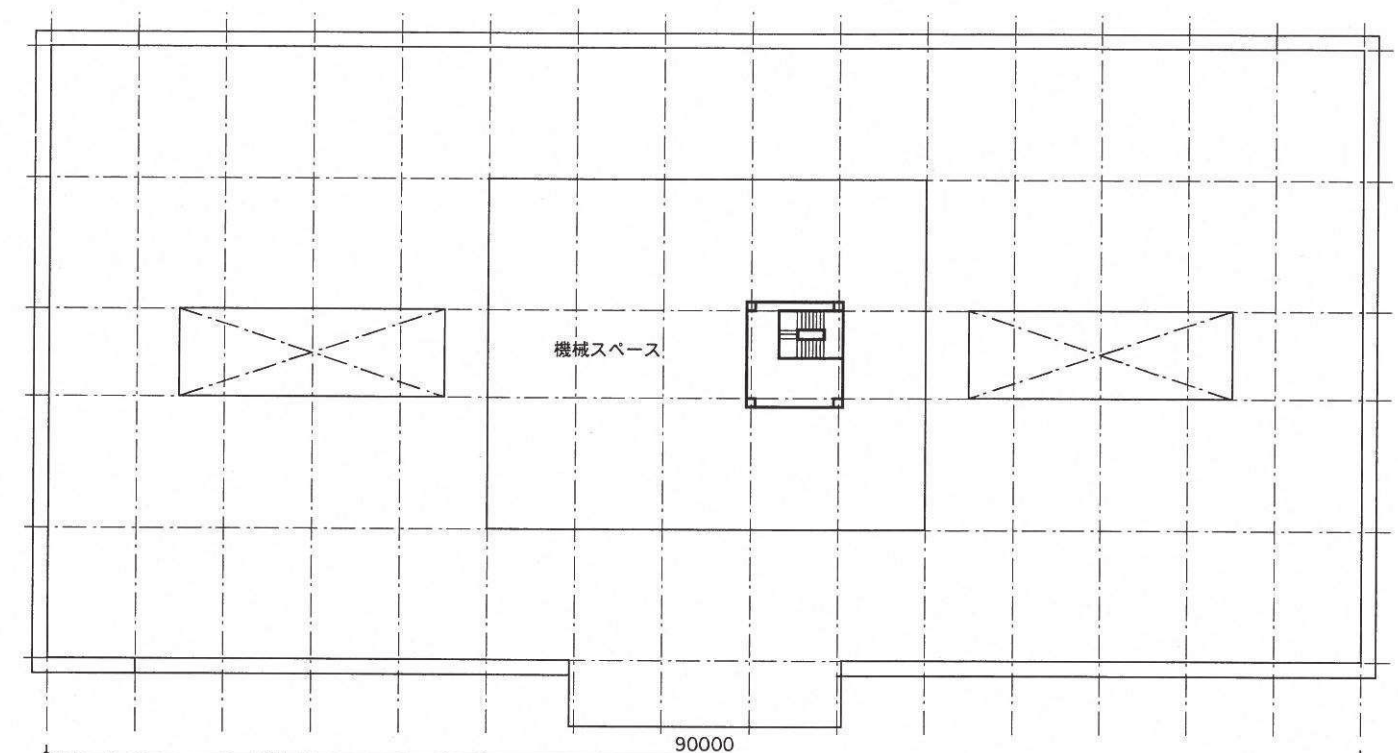


2階平面図 42床(回復期病棟42+リハ、食堂) 3811.98

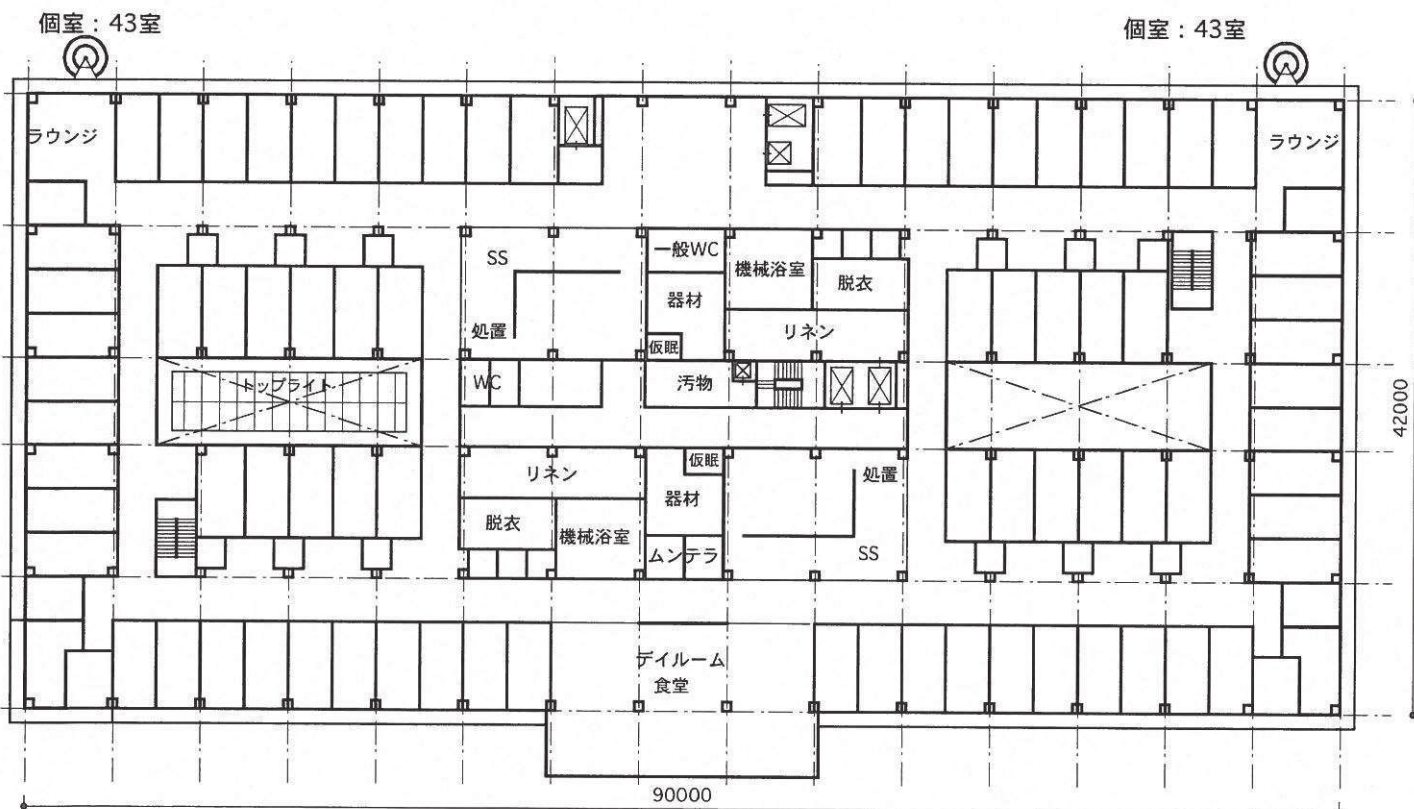
0歳	1歳~
職員	院内
下段	保育
BC	WC



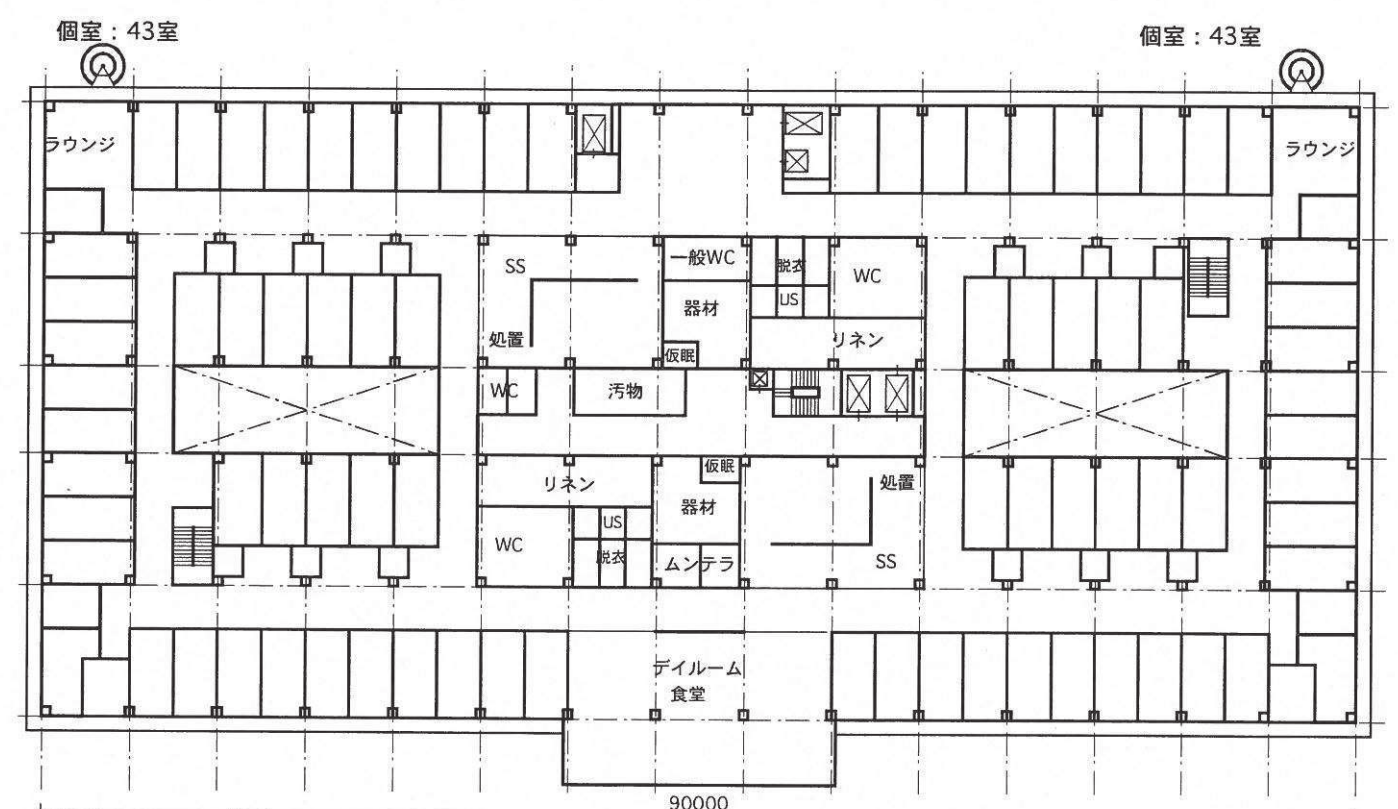
4階平面図 4F:86床 (地域包括ケア病棟43+一般病床43) 3786.34



PH階平面図 47.52



3階平面図 3F:86床 (地域包括ケア病棟43+43) 3786.34



5階平面図 86床 (一般病棟43+43) 3786.34

